

令和元年度 第3回 こども・子育て支援会議 放課後事業部会 会議要旨

- 1 日 時 令和2年3月16日(金) 15:00~16:10
- 2 場 所 大阪市役所 P1(屋上)階 会議室
- 3 出 席 者
- (委 員) 岡田委員、岩崎委員、大野委員、倉光委員、中山委員、名城委員、藤田委員
- (本 市) 平田こども青少年局青少年企画部長
椿谷こども青少年局企画部青少年課長
九之池こども青少年局企画部放課後事業担当課長 他

4 議事要旨

<開会>

- ・あいさつ、資料確認、傍聴者の確認

<議事>

(1) 大阪市こども・子育て支援計画(第2期)について

配付資料 資料1:大阪市こども・子育て支援計画(第2期)素案にかかるパブリック・コメント手続きの実施結果について

資料2:大阪市こども・子育て支援計画(第2期)素案に寄せられたご意見と本市の考え方(案)

資料3:大阪市こども・子育て支援計画(第2期)案 施策体系について

(2) 放課後施策について

配付資料 資料4:令和2年度予算について

資料5:大阪市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

(3) その他

5 議事概要

上記4(1)(2)の議題について、事務局より報告・説明を行い、質疑応答及び意見交換を行った。

【主な意見】

(1) 大阪市こども・子育て支援計画(第2期)について

(岡田部会長)

たくさんのパブリックコメントがあり、特に放課後の件については、市民の関心が高いと思います。

(2) 放課後施策について

(岡田部会長)

新型コロナウイルス対応で、各所で苦勞されていると思う。この間の対応について意見はありませんか。

(倉光委員)

学校のやり方は、当初医療従事者の児童に限るなど、混乱を招いた。

(事務局)

学校が臨時休業の場合、仕様上いきいきも休止が前提だが、臨時休業中も学校の受け入れ体制をサポートしていた。

大量に児童が学校に来ると、休業の意味がなくなるので見極めが難しい。

(倉光委員)

学校から言われると遠慮する保護者が多い、これが現実。そこが欠けていると思う。

(事務局)

生の声と思う。もう少し丁寧なやり方があれば違ったかと思われる。反省をしている所である。

(中山委員)

区 CM 事業だが、統一的な取り扱いがされているかどうか

(事務局)

区 CM 事業の中でもいきいきは特殊で、契約もこども青少年局が行っている。結果、あまりバラツキはない。

(岡田部会長)

今後のいきいきの対応は？

(事務局)

3月25日から終日いきいきで預かる。クラスターを発生させないように、おうちで監護できる場合は利用を控えていただくよう保護者に依頼している。

(岡田部会長)

始業のことはどうしている？

(事務局)

再開を目指し検討中である。

(岩崎委員)

ずっと家にいると児童虐待の問題に繋がる可能性がある。こういう時に家にいないといけない、というのはリスクの高い密室を発生させることになり、保護者のストレス軽減への配慮も必要だ。

(事務局)

通常より多く巡回するようにしている。

(大野委員)

虐待の関係で、普段給食を食べている生活保護の子とかが心配である。ケースワーカーに回ってもらっているのか？

(事務局)

こども食堂の存在もあるが、空いていないところもある。

(藤田委員)

こども食堂に携わっている人のケースで「やりたかったが断念した」という声を聞いた。万が一があったら責任が取れないので、学校に合わせた対応とした。

(中山委員)

卒業、入学シーズンでもあり、イベントをやってもやらなくても怒られる。

(3) その他

特になし。

(事務局)

来年度開催時期について、改めて通知する。